

人生をともにする自分のからだを好きになるための幼児運動へ 「うんどうあそびレボリューション」プロジェクト

北海道で13の保育園・幼稚園・認定こども園を運営する浅利教育学園グループ（理事長: 浅利健自/札幌市）は、2024年春より、こどもたちの基礎体力向上と心身の成長に欠かせない”運動遊び”について、より充実したプログラムになるよう研究開発を進めていくプロジェクト「うんどうあそびレボリューション」をスタートしています。



浅利教育学園グループの思い

こどもたちの日々の暮らしの中で、体を動かす時間である「うんどうあそび」は、幼児期のこどもたちの基礎体力を高め、心身の成長に欠かせないことはもちろん、人生をともにする自分の体を好きになるために大切なものだと考えます。「できる」「できない」という尺度で測るだけではない、体を動かすことの楽しさや、おともたちと楽しさやワクワクを作り出していくことを追求していきます。

「うんどうあそびレボリューション」概要

大学と連携した科学的な根拠や検証と、現場で日々運動遊びに取り組む教諭・保育士の気づきや変化による内容向上によって、より良い「うんどうあそび」を研究・開発します。当グループ13園が一緒に取り組み、園の教諭・保育士だけでなく、こどもたちにも「うんどうあそびレボリューション」に参加してもらいます。5歳児の声を中心に、関わるみんながワクワク楽しめるよう、パワーアップさせていきます。

一北翔大学 生涯スポーツ学部 大宮真一准教授との共同プロジェクト

この度、北翔大学 生涯スポーツ学部の大宮准教授と共に、運動遊びが幼児の運動能力にどのような効果をもたらすのかについて、共同研究を行なっています。

『うんどうあそびレボリューション 活動レポート』（2024年6月）より抜粋

2024年3月、北翔大学の体育館にて、厚別さくら木保育園、北郷あゆみ幼稚園、太平あずさ保育園の4歳児（計102名）を対象にした運動能力測定を実施しました。

測定項目は、文部科学省でも推奨されている『MKS運動能力検査』のうち、25m走、立ち幅跳び、体支持持続時間、両足連続跳び越しの4種類に、なわとびジャンプに似たりバウンドジャンプ能力測定、また研究としてはあまりやられていない「助走してから跳ぶ動き」の発達の6種です。





（北翔大学 生涯スポーツ学部スポーツ教育学科 大宮真一准教授 コメント）

測定を行っていくと運動能力の成長が見られるだけでなく、保育の中での活動とどのように関係していくのかがわかります。さらに、最近では運動能力と学力との関係があることや、幼児のうちに運動ができることによって健康、ものごとへの積極性、集団生活になじみやすくなることが言われています。すなわち、幼児期に運動に親しむことができると、人生での「生きる力」を身につけていくことにつながっていく可能性があります。

【こどもたちの様子・声】

- ・初めての運動測定を楽しみにしている姿や戸惑ったりする姿もあった。
- ・走幅跳の測定で、「こうやったら跳ぶかな」とこどもたち同士で話し合っていた。
- ・こどもたちは学生とのコミュニケーションを楽しみながらうんどう測定を行っていた。
- ・経験のない体を支える動作（体支持）は、自分の身体を支えることが難しい子も多かった。

【職員たちの声】

- ・北翔大学の学生らがこどもたちが楽しく運動できるようにサポートしてくれた。
- ・楽しそうに活動する姿が印象的だった。こどもたちがまたやりたいと言っていたのが嬉しかった。
- ・日頃の遊びの中で育つ運動能力がわかった。

今後の展開

北翔大学大宮准教授とは、2024年8月、2025年3月にも再度同様の体力測定を行い、「うんどうあそびレボリューション」プログラムによる“体づくり”への効果について、適宜調査しながらより有効なうんどうあそびの開発に向けて活かしていきます。

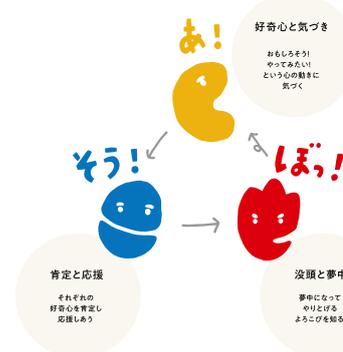
またグループ内では13園でうんどうあそびのブラッシュアップによって、こどもたちがよりからだを動かしたくなるプログラムづくりを進めていきます。

浅利教育学園グループ

当グループは、1969年に創設した学校法人北海道日本大学高等学校（現学校法人札幌日本大学学園）の附属幼稚園を母体としており、学校法人浅利教育学園・社会福祉法人明日萌・学校法人自由創造学園の3法人による連合体です。道央圏を中心に各自治体からの保育園民営化案件の受諾や待機児童解消プログラムに基づく新設案件などにより2024年時点でグループ13カ所の認定こども園、幼稚園、保育園を統括しています（園児数約1100名 スタッフ数約300名）。

当グループでは教育方針「あ！そう！ぼっ！」に基づき、主体的で感性豊かな子どもの育成をビジョンとし、しなやかにたくましく「新しい生きる力」を備えた人間を社会に送り出すことをミッションとしています。

公式HP：<https://www.nissho-asumoe.com/>



— このリリースについての問い合わせ —

浅利教育学園グループ

広報担当:丸山・森下

電話番号:011-876-6200

メール: t.morishita@asari-asumoe.ed.jp